

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700028
法人名	医療法人 徳洲会
事業所名	グループホーム あすか
所在地	鹿児島県奄美市名瀬西仲勝1199番地11 (電話) 0997-55-7155
自己評価作成日	令和1年11月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の身体状況や認知症状を把握及び理解し、個々の入居者に適したサービスを行い穏やかな日常生活が送れるよう支援しています。又入居者様とご家族様が安心できるような体制を構築しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は隣が学校で、学校行事の運動会・文化祭・納涼大会などで子供たちと交流を行っている。学生の職場体験で福祉専門学生・小・中学生を受入れている。集落で出来た野菜を購入するなど、地域との係わりが出来ている。事業所の畑の事などもアドバイス貰うなど、日常的に交流している。
- ・家族の意見や要望などを受入れて、職員の顔写真を紹介し、家族と親しく連携している。
- ・職員会議で職員の意見を聞き、業務時間を変更したり業務内容を見直し、ケアに対しての統一制を図るなど運営に反映している。
- ・食事を楽しむ支援は、畑で収穫した里芋を園庭で、里芋入り豚汁を作り食したり、高倉の下でお茶を楽しむなどの支援をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	2ユニット合同の朝礼で、土日以外は朝礼で毎朝理念を唱和し、意識付けを行っています。	朝礼で、事業所の理念を唱和している。地域と一緒にあって共に支え合う事を重視し、日々の実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事の神事や敬老会、農作業の助言等、コミュニケーションを図っている。	隣の学校行事の運動会や文化祭・納涼大会などに参加し、交流を行っている。福祉専門学生や小・中学生の職場体験学習の受入れ、集落でできた野菜を購入するなど、日常的に交流ができています。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の奉仕作業や小中学校の職場体験を受け入れ、認知症の方々の理解を頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、会議を開催し入居者の身体状況や生活状況を公表し助言やアドバイスをもらっています。	2ヶ月毎に会議を開催し、入居者の状況や外部評価結果報告等を行っている。地域情報を聞いた接客マナーの仕方等のアドバイスもあり、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居者様の状態に問題が発生した時は、適時連絡を取り相談している。	行政主催の研修会に参加している。入居者の精神的な相談事など、市の担当職員に相談しアドバイスを貰うなど、適時連絡を取り相談し協力関係ができています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修や勉強会を開催し、職員全員へ周知している。又朝礼や申し送り等で周知している。	身体拘束に関するマニュアルを基に施設内の勉強会を年1回実施している。現場での行為で不安を感じる事はその都度検討し、朝礼や申し送りで周知している。外出希望者は一緒に散歩するなどしている。鍵の施錠は夜間のみ行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する研修や勉強会を開催し、職員全員へ周知徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度の勉強会を開催し周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前及び入居時に重要事項説明書の内容を説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議で、ご家族さんの意見で改善点がある時は講じる。又意見箱を設置し活用している。	家族の意見で職員の顔写真の要望があり即対応している。外出希望や薬の変更の事なども主治医に相談し希望に添えるように反映している。情報提供は月1回便りは3ヶ月に1回発行し、意見は運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回の全体会議で意見や要望を伺っている。又定期的に個別面談を実施し職員の意見や要望を聞いている。	職員会議を開催し、職員の意見で業務時間や業務内容見直しを行ったり、有休休暇の取得についてや利用者の身体状況の変化で歩行器使用をする等、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年に1回、個別面談を実施している。尚職員から要望がある時は適時面談を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	施設内研修や外部研修の参加を促している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	月1回に施設間連絡会議に出席し情報共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前に、本人と面談しコミュニケーションを図り、方向性を確認している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前にご家族さんと面談し方向性を確認している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始前に、病状や身体機能を把握、確認し本人とご家族さんの要望を聞き入れながら必要なサービスを優先するように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活を送る上で、洗濯や掃除、料理等自ら出来る事は行い出来ない事を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族さんと一緒に参加できる敬老会や遠足等の行事を開催している。又正月やお盆時に、介護度の低い入居者様は外出や外泊を促している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話での会話を促している。又本人の希望する場所に外出する機会を設けている。	本人の希望で電話をすることや畑や自宅・馴染みの店に買い物に出かけたりして、行きたい場所の要望を受入れて外出している。馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活を送る中で、職員とコミュニケーションを図ったり、レクリエーションを通じて関係性を築いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時に、いろいろな事で相談に応じるよう声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、会話をする機会を作り、本人の意向を引き出すようコミュニケーションを図っている。	入浴中や日常の会話の中で本人の思いを把握するようにしている。「畑や買い物に行きたい」「豚味噌が食べたい」等の思いを把握できた事は記録し、職員で共有し対応している。把握の困難な利用者は家族と話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族さんや医療機関、居宅介護支援事業所から情報を収集し、職員間で情報共有を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェック実施し身体状態の把握に努めている。又一人一人の生活状況を記録し職員全員で情報の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回カンファレンスを実施して本人の課題や支援内容の話し合いを行いケアプランに反映している。	月1回のカンファレンスを実施しケアの内容変更など検討している。4ヶ月に1回モニタリングをしている。家族の面会時に意見や要望などを聞き、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活状況を介護記録に記載し職員全員で情報共有を行い必要であれば介護計画書の見直しを実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者が、入院や緊急性、介護度が重度化し時は、家族さんと話し合いをしながら、今後の方向性などを確認している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事に参加し楽しい時間を過ごせるように努力しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、ご家族さんの希望に沿った受診を支援しています。</p>	<p>入居時にかかりつけ医の確認を行っている。事業所のかかりつけ医が多い。受診は本人や家族の希望に添えるような支援を行っている。受診後は即家族に報告をして情報を共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診や訪問診察時又は訪問看護時に日常生活の状態を報告や相談を行い連携を図っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関へ定期的の訪問し情報共有を図っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居開始前、開始時に重度化した場合や終末期に向けた取り組みや施設の方向性を説明しています。</p>	<p>入居時に事業所の方針を説明している。重度化した場合は主治医と家族・事業所で話し合い、家族の意向を聞き今後の方向性を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回、心肺蘇生法の訓練（講話）を実施している。又急変に対応の研修会を開催している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防署立ち合いの下、火災訓練を実施している。又風水害時の事前避難等の対策指示等の指導も行っている。</p>	<p>年2回消防署指導の下、夜間想定 の火災避難訓練を実施している。 地域行事の津波や地震の避難訓練も年1回、事業所独自の訓練も年1回行っている。備蓄の飲料水・食糧品・缶詰・ラーメン・カレールー・毛布など準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人一人に敬いのある声掛けを行っている。又研修会を実施しプライバシーの知識を身につけている。	プライバシー確保のマニュアルを基に研修会を年1回実施している。言葉遣いには十分気を付けている。特にトイレの誘導には気を付けている。不適切な言葉遣いは気づいた時に職員間で注意し合う等、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さんの言動を否定せずに傾聴し可能な限り実践へと繋げている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先にならないように、本人のペースを大切に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者一人一人の意思を尊重し本人の希望する洋服や帽子を購入したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に入居者の食べたいものを聞いたりしている。又野菜の皮むきをしたり、食後の皿洗いをして頂いたりしている。	利用者の個々の状況によって野菜の下拵えや台拭きなど、一緒に行っている。好みの献立を聞く事もある。「豚味噌や油ソーメンが食べたい」等で、提供する事もある。里芋の収穫時には、裏庭で豚汁を作ったり、園庭の高倉でのお茶を楽しむなど、食事を楽しむ支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食献立表を記録したり、食事水分摂取量を記録し状況を把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時と毎食後、口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の入居者の排泄状況を把握し、本人に適した排泄支援をしている。	日中は個々の排泄パターンでトイレ誘導を行っている。夜間は転倒予防の為、部屋でのポータブルトイレを使用している方もいる。排泄の自立に向けた支援を行っている。	部屋にポータブルトイレが置かれているが、日中は目につかない場所に置くか、何かで覆うなど配慮が望まれる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で、運動を取り入れたり、食事面では排便効果のある食材を提供している。又医療機関に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は基本的には入浴日を設定しているが、本人の体調や希望を考慮し入浴支援を実施している。	週2回の入浴支援を行っている。本人の体調や希望を聞き、入浴剤を使うこともある。拒否される利用者には声掛けや翌日に変更するなど、個々に応じた入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思を尊重し、好きな時に休息しています。又意思疎通が困難な入居者様は、職員の声掛けをし支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居前、入居後も職員へ薬の情報を周知し理解・把握しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者一人一人の生活歴や趣味を把握し、農作業やドライブを実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域行事の参加や、ドライブ、買い物等の支援をしている。	食材の買い物や散歩・買い物ドライブ等、1週間に1回は遠出のドライブを行っている。日常的には庭の花の手入れなど個々の状況で行い外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が可能な入居者様にはお小遣いとして所持してもらい買い物支援を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者様本人から要望のある時は適時対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝、掃除を行い清潔保持に努めています。又トイレなど汚れやすい所は、適時清掃を実施している。又季節に応じた飾りつけ等創作活動も実施している。	明るく広々としたリビングで利用者がA、B棟と自由に行き来している。個々の居場所で会話を楽しんだり花園の花を眺めたり、壁に職員と一緒に作った貼り絵やぬり絵を飾り、旅行に行った時の写真が飾られて、居心地よく生活ができるように配慮されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	共有空間にテレビやソファを設置し好きな時間に安らげる場所を提供しています。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人の使い慣れたタンスや衣類、見慣れた写真等を活用し本人の居心地の良い空間が提供できるよう相違工夫している。	自宅から家具・タンス・椅子・テレビ・ラジオ・家族写真を飾るなど、CDや愛用のギターを楽しむ方もいて、個々の好みを活かし居心地よく生活できる工夫がされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	施設内とトイレやお風呂の位置、本人の部屋や座席が分かるように表示板を設置し本人の意思で生活できるように支援しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない